

静岡大学地域連携協働センター・公開シンポジウム  
 地域と大学をつなぐ～メディアイーターとしての学生～  
 アンケート結果

生涯学習教育研究センター

開催日時:平成22年1月23日(土) 14:00～17:00

開催場所:静岡駅前ビル・パルシェ 7階 会議室

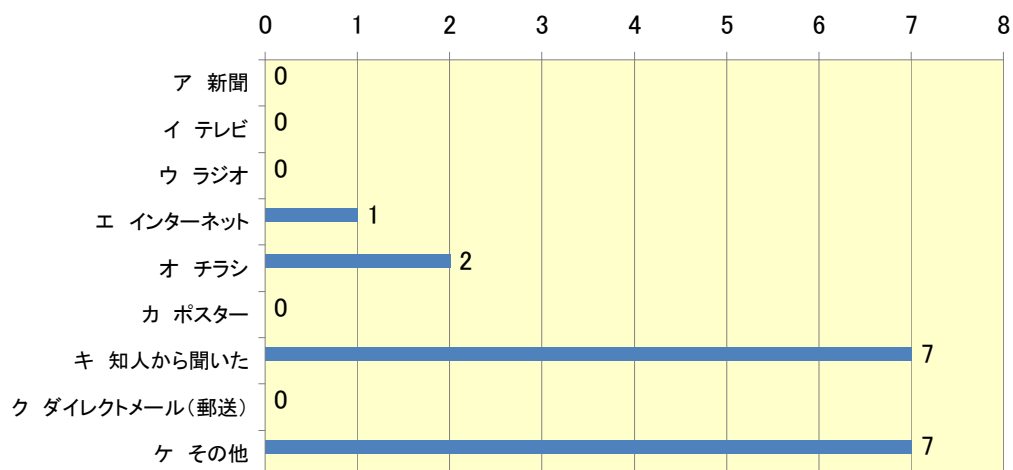
参加人数:48

回答数:17

## 1. この連携講座を、何でお知りになりましたか(あてはまるものをすべて選んでください)。

ア 新聞	0
イ テレビ	0
ウ ラジオ	0
エ インターネット	1
オ チラシ	2
カ ポスター	0
キ 知人から聞いた	7
ク ダイレクトメール(郵送)	0
ケ その他(※)	7

⇒ ※ 大学の授業で・・・4  
 同窓会(浜松工業会)関係・・・1  
 読売新聞の講座で・・・1  
 小西先生より・・・1



## 2. 本日のシンポジウムのご意見・ご感想をお願いいたします。

- \* 大学内の自分の知らない所で、地域とかかわって大学と地域を共に発展させていこうという試みがあるのを色々知ることが出来て面白かった。  
 農学部の一社一村運動がすごく楽しそうでした。他学部でもそのようなものがあれば良いと思いました。
- \* 特に、「現代GP 一社一村しずおか運動における学生の役割」について述べたいと思います。  
 よそ者の視点から、地域の誇りを回復するのが役割ということでしたが、地域に向けられるエネルギーや好奇心が、同じくらい自分自身にも向けられているのか、自分や自分の今生きている社会、そして故郷について誇りを持っているのかと思いました。地域へのサポートだけが目的でないのなら、そうい

うのを考えることも大切だと思います。また、最初に関わった学生と、今後既にできあがったネットワークの上で関わっていく人とは、やっぱり意味合いも異なってくると思います。人が少なくなっていく一方で、この活動がいつまで続いていくのだろうと思いました。

- \* 静岡大学の学生の、広い活動内容を知ることができました。
- \* 一社一村運動しか知りませんでした。こんなにたくさんの人たちが一生懸命やっていた事、びっくりしました。
- \* 今日発表された活動は、今まであまり知らなかった。活動はもっとPRしてもよいと思う。広報誌の利用も必要であるが、新聞紙一面を活用して、今日の発表を掲載すれば良いと思う。活動をPRする場があれば、プレッシャーにもなるが、活動も充実するのではないか。
- \* 地域と交流している学生さんが大勢いることがわかりました。思っていたより大学と地域が近くにあるのだと実感しました。音楽・芸術・労働力・科学など、思ってもみない方向からのつながりがあり、感心しました。この新しいつながりを続けていく力を、地域ももっと考えなければ、変化が起こるのは難しいのかなあとと思いました。
- \* 商売とは違う、学生らしい発想等が新鮮です。もっと静岡を知って欲しい。
- \* どのテーマも非常に興味深く聞かせていただきました。地域連携・浜松キャンパスの場合は、大学⇄企業間の共同研究や委託研究という形が多く、内容は専ら「ものづくり」に関するもの。“人間”が入り込む余地はほとんど無いように思います。それぞれということと思いますが、「新鮮な感動」がありました。レベルアップ(深化(?))を期待します(気長に)。
- \* 各プロジェクトが興味深く、熱心な活動で素晴らしい。
- \* 静大の学生さんがいろいろな活動をしている事がわかりました。
- \* 大学(主に学生)と社会とのつながりのあり方を再考できた。産学連携という方法でも双方に利益があるし、地域活性化へつながる『学生だから出来る事』は、これからも多く考える余地があると感じた。相互に成長できる。
- \* 色々な地域とのつながりがあり、とてもよかったですと思います。大学がこの静岡の“町おこし”“村おこし”を今以上に始めれば、静岡がもっと変わってくると思います。これからの活動に期待します。私の地区では、山里が元気になり始めています。
- \* みんなが「地域に貢献したい」という、あたたかい心を持っているのが感動しました。このシンポジウムを通じて、自分でできる限り、これからもっと社会や地域に貢献できるようなメディアエ이터として活躍していきたいです。
- \* 途中からの参加でしたが、今後もこうした報告に期待しています。パネルディスカッションが興味深かったので、テーマを定めて、成果や課題が話し合われると良いです。
- \* 大学と地域の連携、取り組みが聞けて参考になりました。

- \* 地域と大学が結びついている事例を、具体的に聞くことができた。教員と地域が協力して、大学生の持つエネルギーをうまく引き出して、それを地域や団体の大きな力にしていると思った。では、学生と大学の力を地域から求めていく時は、どのようにしたらよいかと考えてしまった。時間がいっぱいいっぱい、フロアからの質問が限られて惜しかった。
- \* 地域との接触を通じ、自分の専門と社会への貢献へのつつこみをもっと提案した方がよいのでは。やりましたの発表会なのかな。鈴木さん、伊藤さんの指摘は良かった。

### 3. 静岡大学へのご意見・ご要望などありましたらお願いいたします。

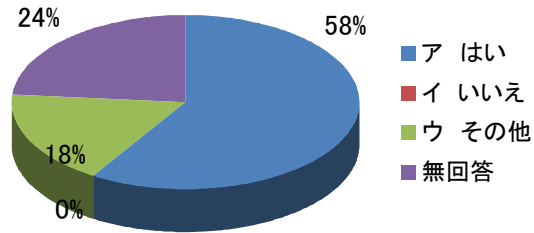
- \* 本日発表されたことの中で知っているものがあまり無かったので、学内にでもっとアピールすれば良いと思います。
- \* 学んだ事を社会に活かして行ってほしいです。これからも、大学と地域の結びを強くして行ってほしいと思います。
- \* 地元の大学として地域、市、県と連携して活動して下さい。
- \* 今まで『大学』というと、とても高い壁の向こうにある所のような物でした。このような会で発表を聞くことで、本当は近くにいる人達なのかな、と思いました。もっと身近に感じられる学校であってほしいと思います。
- \* 静岡にふれあい、地元の人々とふれあい、交流をもち、様々な事を感じてほしい。そのなかで、静岡地区の課題や問題を見出し、提案してほしい。どんどん学生達と交流の場を広げて欲しい。
- \* 今どきの学生(失礼?)は、大学生活の中で自分の価値が見出せないでいるという意見(学生からも評論家からも)があります。これをフォローするためNPO活動(地域連携含め)などに熱中することがあると。2月13日の公開シンポジウムⅡに興味津々。
- \* これからも地域連携に力を入れて下さい。
- \* 若い力をどこにでも出して欲しいと思います。頑張ってください。
- \* 今年もよろしくお祈りします。縁を大切に！！
- \* 海外大学では、学生に4年間大学の生活の中、ボランティア活動の単位があります。学部は全てですので、卒業するまで何時間以上活動しないと卒業ができないという制度があります。若い学生が単位のためでなく、他の世界があるよという目的です。
- \* 私はこの春、卒業して静岡を離れるUターン組です。それでも、地域の人と出会い、ともに活動したことには意味があったと思います。願わくば大学にも市民の方にも、何かプラスになっていますように・・・
- \* 大学と地域連携を益々広げて行って下さい。一般市民が大学へ足を運ぶ様な大学であって下さい。
- \* バス停からのアクセスを考えて欲しい。坂が多くて、地域住民にはなかなか人文学部まで上がることは

できない。物理的に開放して欲しい。例えばエスカレーターの設定とか、学内周回マイクロバスとか。せめて、図書館や地域連携協働センターまで、息を切らさずに足を運べるようにしてほしい。

\* 地域の問題解決を提案し、行動を促す活動が聞きたい。

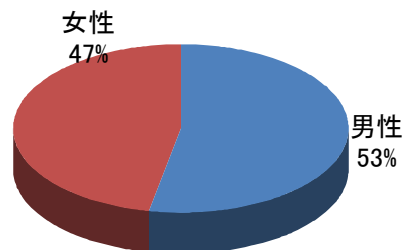
4. 次回もこのようなシンポがあったら参加したいですか。

ア はい	10
イ いいえ	0
ウ その他	3
無回答	4

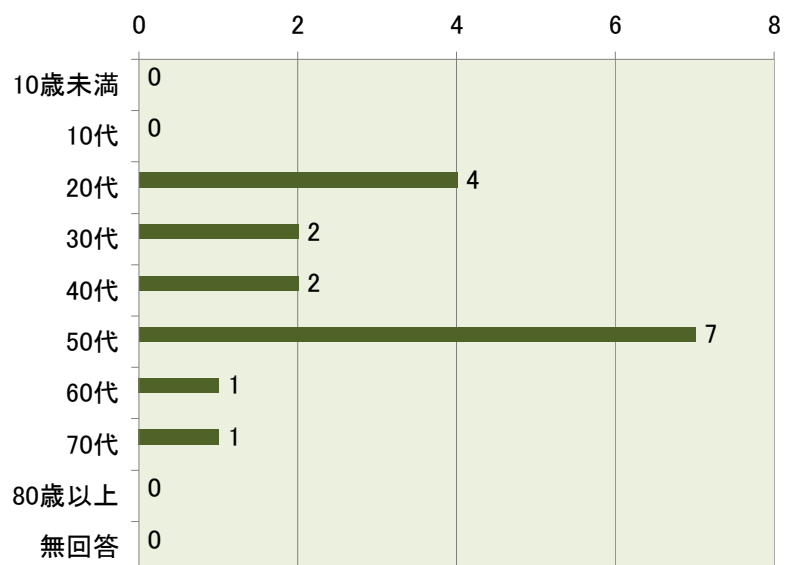


6. 差し支えなければご記入をお願いいたします。(該当に☑)

性別	男性	9
	女性	8



年齢	10歳未満	0
	10代	0
	20代	4
	30代	2
	40代	2
	50代	7
	60代	1
	70代	1
	80歳以上	0
	無回答	0

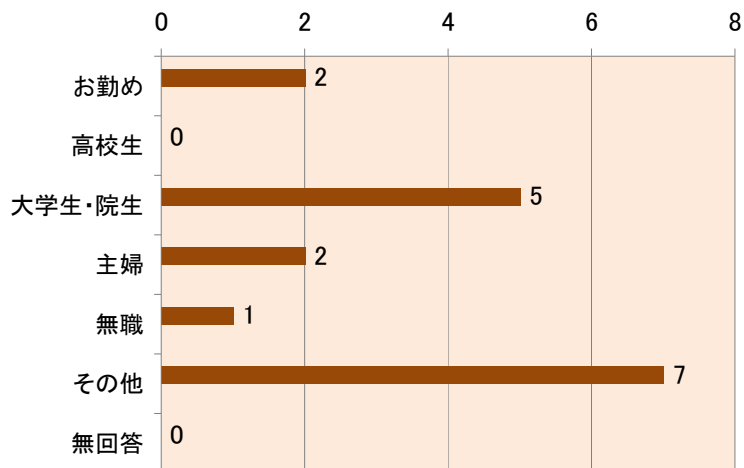


職 業

お勤め	2
高校生	0
大学生・院生	5
主婦	2
無職	1
その他	7
無回答	0

※「その他」の内訳

- 自営・・・1
- 農業・・・4
- 会社役員・・・1
- 無記入・・・1

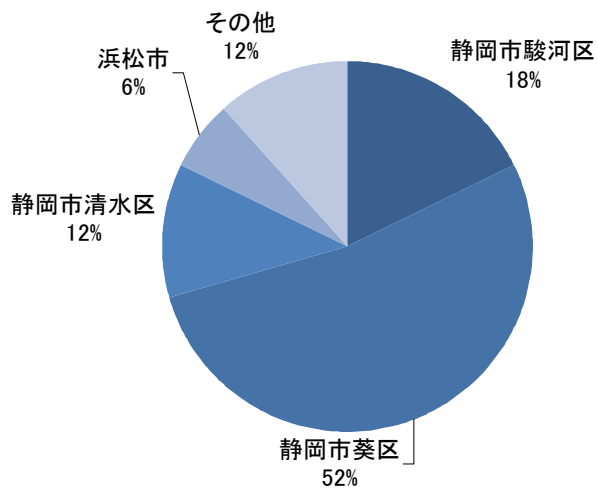


お住まい

静岡市駿河区	3
静岡市葵区	9
静岡市清水区	2
浜松市	1
その他	2

※「その他」の内訳

- 三島市・・・1
- 無記入・・・1



以 上